

広報



まつざき

2010
(平成22年)

10

No.557

総合防災訓練 (9/1)

三浦地区では、東海地震が発生し、道路の寸断により地区が孤立してしまったことを想定して海上輸送訓練が実施されました。

訓練では、各漁港から漁船または自衛隊のボートに乗り、沖に停泊した海上自衛隊の多用途支援艦「えんしゅう」に乗り換え、松崎新港まで避難しました。





棚田サミット便り 第2号

第16回 全国棚田(千枚田)サミット開催 10/22・23

全国棚田(千枚田)連絡協議会(会長・関口芳史新潟県十日町市長)主催の第16回国棚田(千枚田)サミット開催まで、あと20日余りとなりました。

これまで、開催内容については毎月の広報でお知らせしてきましたが、今回全体の内容をまとめてお知らせします。棚田(千枚田)サミットは、全国の棚田(千枚田)を有する市町村、棚田保全に取り組む団体が一堂に会し、意見交換や交流を図り、一致協力し



サミットが開催される石部の棚田

て国民の保全意識を高めるために毎年開催されているものです。

松崎町で10月22日(金)・23日(土)の2日間、「棚田が結ぶ、ふるさとの絆くみみなで創ろう!百笑(ひやくしよ)の里」をテーマに、開催される棚田サミットには、北は北海道から南は鹿児島県まで全国各地から800人以上の参加申込がありました。



開会式

22日の開会式は、棚田サミットのメイン会場となる松崎高等学校体育館で行われます。開会式は、松崎小学校2年生の「棚田へ行こう!」のテーマソングで始まり、川勝平太静岡県知事の「農の理想郷づくり」棚田を活かす」をテーマとした基調講演や、石部地区棚田保全推進委員会の『よみがえれ「食のふるさと棚田」く潤える地域づくりを目指して」をテーマとした事例発表なども行われます。



分科会

分科会では、4つのテーマで棚田の保全や活用策について考えます。

第1分科会

テーマ「棚田保全、協働」
コーディネーター
杉山恵一氏
(静岡大学名誉教授)

話題提供者

高橋周蔵氏(石部地区棚田保全推進委員会会長)、山本哲氏(NPO法人せんがまち棚田倶楽部理事長)、高木伸氏(富士常葉大学教授)、田口讓氏(NPO法人恵那市坂折棚田保存会理事長)

第2分科会

テーマ「棚田の多面的機能、生態系保全、里山・森の保全」
コーディネーター
山田辰美氏
(富士常葉大学教授)

話題提供者

土屋武彦氏(下田市立下田中学校教諭)、稲垣栄洋氏(静岡県農林技術研究所上席研究

第16回 全国棚田(千枚田)サミットプログラム

10月22日(金)

時間	内容	会場
13:00~13:30	開会式	松崎高等学校体育館
13:30~14:30	基調講演	
14:30~15:00	事例発表	
15:00~15:30	(移動)	松崎高等学校講堂ほか
15:30~17:30	分科会	
17:30~18:00	(移動)	
18:00~20:00	全体交流会	松崎高等学校体育館

10月23日(土)

時間	内容	会場
8:30~11:30	棚田見学会	石部の棚田
11:30~13:00	(移動・昼食)	
13:00~13:45	分科会まとめ	環境改善センター
13:45~14:15	閉会式	

員)、福井順治氏(磐田市桶ヶ谷沼ビクターセンター)、日鷹一雅氏(愛媛大学農学部准教授)

第3分科会

テーマ「教育連携、体験教育」
コーディネーター
中井弘和氏
(静岡大学名誉教授)

話題提供者

土屋佳彦氏(静岡県立松崎高等学校教諭)、広瀬麗子氏(ポールアース自然学校代表)、すぎ青氏(NPO法人縄文楽校代表)、五十嵐勉氏(佐賀大

学農学部准教授)

第4分科会

テーマ「観光連携、特産品開発、マーケティング」
コーディネーター
千賀裕太郎氏
(東京農工大学大学院連合農学研究科長)

話題提供者

鈴木基氏(松崎町商工会事務局長)、大棟鉄雄氏(NPO法人フロンティア清沢理事長)、毛利良之氏(NPO法人夢中塾副理事長)、西谷吉雄氏(株式会社いろどり取締役)

全体交流会

分科会終了後開催される全体交流会では、郷土芸能の披露や地元の食材を使った料理が提供されます。

郷土芸能では伊豆松崎牛原太鼓の演奏や石部三友社による荒神払い、また松崎町の地場産品や前回開催地新潟県十日町市、次回開催地徳島県上勝町から提供された特産品の抽選会も行われます。

おもてなし料理は、商工会J A女性部、松崎、中川、雲見の女性会の皆様が、この日に向けて準備したヒジキやキバナゴ、天草などの地場産品を使った料理10品が提供され



女性会などを対象に実施された調理実習

るほか、料理飲食店組合青年部などによる料理や川のり、桜葉、黒米などを使った松崎ブランド品の試食コーナー、販売コーナーも設けられます。

なお、交流会で使われるカップ、お椀、ハシ類は、可能な限りリユース食器を使い、環境に配慮しています。

棚田見学会

23日の棚田見学会には、600人以上が参加します。参加者は、送迎バスに分乗し、2班に分かれ、車内でボランティアによる説明を受けながら、石部の棚田に向かいます。

棚田では、石部地区女性会の皆様による伊勢海老の味噌汁、トコロテン、オリーブ茶のサービスが行われます。

また、四季の棚田の写真も揭示されます。

参加者には、富士山や南アルプスを望む美しい石部の棚田をご覧いただきます。

閉会式

棚田見学会が終了すると、参加者は長八美術館から徒歩で閉会式会場となる環境改善センターに移動します。通り

は、「松崎町花の会」の皆様の協力をお願いいただき、花で飾られることになっています。

環境改善センターでは調理師協会と町内業者が、黒米や川のり、桜葉、ひじきなど地元食材を使って作ったお弁当が提供されるほか、地場産品の販売や近隣市町のPRコーナーも設置されます。

閉会式では、前日開催した分科会のとりまとめや共同宣言が行われ、来年開催の徳島県上勝町に引き継がれます。

参加者記念品

棚田サミットへ全国各地から参加した皆様には、松崎らしい記念品をご用意しています。松崎小学5・6年生と中学生による棚田の風景画を貼りつけた「いづこいし」や石部女性会OBや地区住民、ボランティアからなる「松崎町たんぼぼグループ絆」が製作した手作り布製コースター、棚田の十二か月の写真入りのスタンドカレンダー、棚田のメッセージを入れたエコバッグなど、松崎町を思い出していただき、長く使っていただけるものとなっています。

また、棚田米で作られたポイン菓子も配られることになっています。



棚田サミットは、実行委員会ははじめ、小学校、中学校、高等学校、女性会、各種団体ボランティアなど、町内外の多くの皆様が係わって準備を進めてきました。

期間中は、全国各地から多くのお客様が松崎町を訪れますので、町全体で温かくお迎えいただき、松崎ならではの心に残るサミットを開催し、参加者に喜んでいただけるようご協力をお願いします。

交通規制

10月22日(金)に棚田サミットの開会式が行われる松崎高等学校周辺は、貸切バスやシャトルバスなどが通行するため、町道中島2号線(県道)松崎高等学校、町道江奈桜田線(松崎高等学校)桜田公民館(町道梓出線)桜田公民館(県道)を時間帯で一方通行とさせていただきます。

なお、会場周辺には駐車場はありませんので、お車でご来場の際は、松崎港臨時駐車場からのシャトルバスをご利用ください。

10月23日(土)の棚田見学会も送迎バスの進入する町道貫七線(富士見農園)棚田入口、および徒歩移動の町道赤根田線(棚田入口)旧三浦小学校、町道山口雲見線(旧三浦小学校)町道石部線(町道山口雲見線交差点)石部温泉バス(停付近)間を午前中通行規制させていただきます。

ご迷惑をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964



国勢調査

住民票の届け出とは関係なく、10月1日現在に住んでいる場所で調査します。

国勢調査は、日本に住むすべての人・世帯を対象として、5年に一度行われる国の最も重要な統計調査です。調査の結果は、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる大切な基礎データとなります。



調査結果はこんな所で

役立っています

調査結果は、地域の産業振興や都市計画および防災対策などのために欠かせない情報基盤として活用されるほか、児童福祉や高齢者の介護・医療、若者の雇用対策など、私たちのこれからの暮らしに役立てられます。

また、調査結果は、国や地方公共団体だけではなく、広く民間企業や研究機関でも利用されています。国勢調査から得られるさまざまな統計が利用できることよって、民間企業の経営判断も効率的・効果的に行われるようになります。

正確なデータが得られないと、人・世帯の実態を正確に把握できないため、本当に必要な施策が実施できなくなるおそれがあります。すべての皆様に漏れない正確な回答をお願いします。

国勢調査から得られる情報は
行政施策の基礎資料として利用されます

防災対策に

万が一、地震が起きた場合、避難場所がないと困ります。災害に備えて、安全な避難場所や避難経路を決め、被害を最小限に抑えるためにも、国勢調査から得られる地域別の男女・年齢別人口や通勤・通学の場所から作成する人口データが利用されています。



ごみ処理計画

近年、環境問題に関心が寄せられています。人が生活したり、事業を営んだりすることにより、廃棄物は必ず出るので、この廃棄物の処理場建設計画や廃棄物の回収計画に、調査から得た人口や世帯数の統計が利用されています。



高齢化福祉対策。 子育て支援施策にも

調整結果は行政施策や教育など幅広い分野で利用されます。

とりわけ、都道府県ごとの少子化対策として注目されている「子育て支援プラン」などでは、人口や世帯数の統計が基礎データとして利用されています。



調査項目について

今回の国勢調査では、次の20項目について調査します。

「世帯の各人に関する項目」

①氏名②男女の別③出生の年月④世帯主との続柄⑤配偶の関係⑥国籍⑦現在の住居における居住期間⑧5年前の住居の所在地⑨在学、卒業等教育の状況⑩就業状態⑪所属の事業所の名称および仕事内容⑫本人の仕事の内容⑬従業上の地位⑭従業地または通学地⑮従業地または通学地までの利便交通手段

「世帯に関する項目」

⑯世帯の種類⑰世帯員の数⑱住居の種類⑲住宅の建て方⑳住宅の床面積の合計

個人情報保護について

調査対象となる皆様に安心してご回答いただくために、国勢調査員に従事する者には、統計法により厳しい守秘義務が課せられています。

国勢調査員は、調査票の入った封筒は開封せずに町へ提出しますので、調査員が調査票の内容を確認することはありません。

調査票は、厳重に管理し、集計が完了した後は、完全に溶かし、再生紙として生まれ変わります。

※提出していただいた「調査票」に記入漏れなどがある場合には、指導員または町から問合せをすることがあります。



国勢調査Q&A

Q 松崎町に住民票を残して東京で一人暮らしをしている場合はどうなりますか？

A 国勢調査では、住民票などの届出に関係なく、実際に住んでいる場所で調査票の記入をします。この場合は、東京で調査を行います。

Q 3カ月以上入院している場合はどうなりますか？

A その入院先の病院や療養所などで調査します。また、老人ホームなどの社会施設の入居者は、すでに3か月以上入所しているか、3か月以上入所することになっていれば、その施設で調査します。

Q 同じ家に親夫婦と子夫婦が住んでいる場合は、2世帯で調査するのですか？

A 生計がまったく別であれば別々の世帯として調査します。

Q 住民基本台帳があるから、国勢調査を行う必要はないのではありませんか？

A 住民基本台帳では、住居を移しても届け出なかったり、住民登録を残したまま一人住まいで大学に通っていたりする場合、単身赴任をしている

場合など、届け出の状況が人によってさまざまです。

確かな行政を進めるためには、人口・世帯についての現状を正確に把握する必要があります。住民基本台帳とは関係なく、国勢調査を行う必要があるのです。

Q 調査票の記入方法がわからない場合は？

A コールセンターか町へお問い合わせいただくか、調査員が訪問した際にご質問ください。

国勢調査コールセンター
☎ 0570-01-2010

IP電話・PHSの方は、
☎ 03-6738-6677

時間：午前8時～午後9時
※土日祝日も利用できます。

松崎町役場 企画観光課
☎ 0558-42-3964

かたり調査に注意！

国勢調査員を装った「かたり調査」には十分ご注意ください。

国勢調査員は、写真入りの「国勢調査員証」を身につけています。不審に思った場合は、調査員証をご確認ください。

調査方法を改善しました

平成22年の国勢調査では、より提出しやすい調査方法に改善されています。

○調査票は封入して提出

これまでの国勢調査でも世帯の希望により封をして提出することは可能でしたが、世帯の人の個人情報保護意識に配慮し、すべての世帯で調査票を封筒に封入する方式になりました。

ただし、記入方法がわからない場合や調査票の記入内容の確認をしてもらいたい場合は、世帯の人からこれまでと同じように調査員に依頼することができます。

○調査票の提出は郵送でも可

単身世帯や共働き世帯の増加など、日中においての不在世帯が増え、調査員が訪問しても調査票を回収できない場合があります。今回調査からは、いまままでと同様に調査員に提出する方法のほか、郵送でも提出できるようになりました。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

総務費 8億2,672万円
22.7%(前年対比 44.2%増)

- ・定額給付金給付事業……………1億3,197万円
- ・財政調整基金積立金……………9,244万円
- ・路線バス対策事業……………2,586万円
- ・花いっぱい運動推進事業……………1,721万円
- ・コミュニティ活動推進事業……………1,186万円
- ・まちづくり事業
(ピカ市・太鼓フェスティバル)……………210万円
- ・交通安全対策事業(カーブミラー修繕他)
……………137万円

民生費 6億6,072万円
18.1%(前年対比 7.3%増)

- ・自立支援給付費……………1億1,604万円
- ・介護保険特別会計繰出金……………1億415万円
- ・保育所実施委託事業……………5,139万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金……………3,458万円
- ・後期高齢者医療特別会計繰出金……………2,926万円
- ・重度心身障害者医療費助成事業……………1,963万円
- ・地域福祉推進事業(寿乗車券利用助成他)
……………1,010万円
- ・敬老の日行事委託……………404万円

衛生費 3億8,309万円
10.5%(前年対比 5.9%増)

- ・じん芥処理事業(清掃点検業務委託他)
……………1億8,092万円
- ・西豆衛生プラント組合負担金……………6,753万円
- ・老人健康対策事業(検診、機能回復訓練他)
……………1,402万円
- ・合併処理浄化槽設置補助事業……………859万円
- ・乳幼児医療費助成事業……………602万円

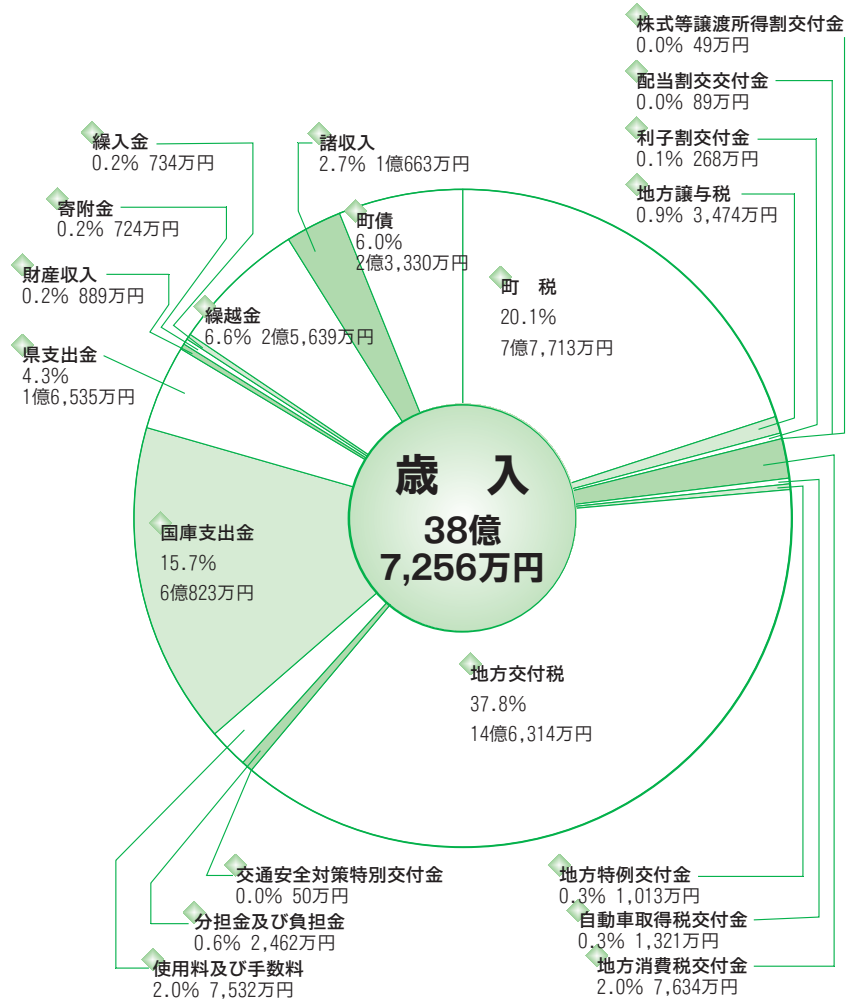
農林水産業費 2億9,993万円
8.2%(前年対比 62.6%増)

- ・団体営基盤整備促進事業(南郷・雲見)
……………1億3,953万円
- ・林業振興事業(間伐材活用事業等)
……………1,736万円
- ・石部漁港整備交付金事業……………1,200万円
- ・農業振興事業(有害獣等被害防止対策補助他)
……………396万円
- ・松くい虫予防対策事業……………336万円

平成21年度 一般会計 決算報告

総額36億4,670万円 このように使いました。

依然として厳しい財政状況ですが、農業基盤整備や観光振興、小中学校補修工事など緊急かつ効果の期待できる事業に重点を置いた予算執行に努めました。



◎歳入の状況

歳入決算額は、38億7,256万円(前年比11・5割の増)で、収入率は予算現額に対して91・5割、調定額に対しては97・5割、未収額は9,027万円となりました。前年度比増となった主なものは、地域活性化臨時交付金や定額給付金事業により国庫支出金が3億9,751万円、繰越金1億2,384万円、地方交付税3,105万円等で、前年度比減となったのは、町税4,564万円、県支出金1,528万円等です。

町税等の自主財源比率は32・6割で、前年比4・1ポイントの減となりました。

◎歳出の状況

歳出決算額は、36億4,670万円(前年比13・4割の増)で、執行率は86・2割、不用額は1億7,244万円となりました。

目的別にみますと、前年比増となった主なものは、定額

教育費 4億1,663万円
11.4%(前年対比 0.7%増)

- ・義務教育施設整備事業(小中学校補修工事他) 3,785万円
- ・海洋センター運営事業 2,085万円
- ・遠距離児童生徒通学費補助金 685万円
- ・英語指導助手業務委託 542万円
- ・青少年育成事業(史跡めぐり駅伝大会他) 181万円
- ・小中学校児童生徒派遣事業(スポーツ大会参加補助) 163万円

公債費 3億6,767万円
10.1%(前年対比 17.0%減)

- ・元金 3億1,063万円
- ・利子 5,703万円

議会費 5,059万円
1.4%(前年対比 3.6%減)

- ・議員報酬、手当等

災害復旧費 992万円
0.3%(前年対比 皆増)

消防費 2億2,788万円
6.2%(前年対比 9.7%増)

- ・西伊豆広域消防組合負担金 1億3,874万円
- ・消防団運営事業 2,706万円
- ・消防施設整備事業(消防ポンプ車整備他) 3,886万円
- ・災害対策事業(備蓄食糧購入、AED整備他) 1,386万円

土木費 1億9,687万円
5.4%(前年対比 25.8%増)

- ・道路新設改良事業 5,089万円
- ・松崎港湾整備事業負担金 2,680万円
- ・急傾斜地崩壊対策事業負担金(明伏・大沢・船田地区) 684万円
- ・河川維持事業(河川改修土砂除去) 447万円
- ・住宅地震対策事業 180万円

歳出
36億
4,670万円

平成21年度 一般会計決算性質別歳出内訳表

性質別	決算額	比率
人件費	6億8,188万円	18.7%
物件費	6億7,879万円	18.6%
維持補修費	3,227万円	0.9%
扶助費	2億7,373万円	7.5%
補助費等	6億2,185万円	17.0%
公債費	3億6,767万円	10.1%
積立金	2億3,626万円	6.5%
投資及び出資金貸付金	214万円	0.1%
繰出金	1億7,833万円	4.9%
普通建設事業費	5億6,386万円	15.5%
災害復旧費	992万円	0.3%

商工費 2億668万円
5.7%(前年対比 0.5%減)

- ・観光振興事業(観光宣伝・ツアーメーカー他) 4,179万円
- ・三聖苑トイレ整備工事 2,102万円
- ・商工振興事業(資金利子補給等) 1,695万円
- ・牛原山町民の森整備事業 233万円
- ・鏝絵の町づくり推進事業(漆喰鏝絵コンクール) 187万円

給付金事業費や選挙費などの増により総務費が2億5,339万円(44・2割の増)、団体營基盤整備事業や石部漁港整備交付金事業の増などにより農林水産業費が1億1,542万円(62・6割の増)、自立支援給付費の増などにより民生費が4,483万円(7・3割の増)となりました。

さらに、台風により被害を受けた漁港や、豪雨により被害を受けた農業施設の災害復旧費が992万円の増(皆増)となりました。

一方、前年比減となった主なものは、公債費が7,513万円(17・0割)の減、議会費187万円(3・6割)の減となりました。

町税等の自主財源の乏しい厳しい財政状況ですが、人件費(前年度比1,481万円減)などの経常経費の節減に努め、効果の期待できる事業に重点的に予算を配分できるように、引き続き取り組んでまいります。

【問合せ】

総務課(42) 3963

耕作放棄地を再生して地域の宝へ

遊休農地対策

遊休農地を調査

近頃、農業従事者の高齢化や不在地主等により、耕作放棄地が増加傾向にあります。

町では、昨年町内の農業振興地域内にある農地300鈔を対象に調査を行い、約33鈔の耕作放棄地が存在することを確認しました。

耕作放棄地は、有害鳥獣の棲家や害虫・植物伝染病の発生源になりやすく、農村景観を損なうことにもつながります。



収穫を待つ田(手前)と耕作放棄地(奥)

町では、耕作放棄地対策を推進するため、次の事業を行います。耕作放棄地解消と農地保全に努めています。

農地貸借等情報公開

増加傾向にある耕作放棄地と将来農業経営に不安がある耕地を、農地を拡大したい・新しく農業を始めたい担い手と結びつけるため、売買・貸借の希望がある農地を窓口および町ホームページで公開しています。

今回の農地公開の目的としては、次のような事が挙げられます。

- 経営継承による耕作放棄地増加の未然防止
- 担い手の耕作拡大による農業振興
- 新規就農者の確保
- 増加傾向にある耕作放棄地の解消

耕作希望者へは、農業委員会が斡旋し、スムーズに農業経営が行えるようサポートします。今回、公開した売買・貸借希望農地は79筆、約3・6鈔です。

こういった形での農地情報公開は、県下でも初の試みです。公開してからの反響も大きく、「自分のところにも耕作放棄地があるので、台帳に登録して情報公開してほしい」、「松崎町に移住して農業をやりたい」といった相談が寄せられています。



昨年導入した乗用草刈り機

耕作放棄地の保全管理

〜安く・早く・きれいに〜

現在、農業従事者の高齢化や不在地主の増加により、保全管理することが困難な状況になっている農地が多く見られます。

そこで、町は昨年度、国の交付金を活用して乗用草刈機を購入し、シルバー人材センターに貸与しました。従来の人力作業と比較して安い費用(短時間で処理)と、早い作業時間で、所有者・利用者の負担は軽減されました。

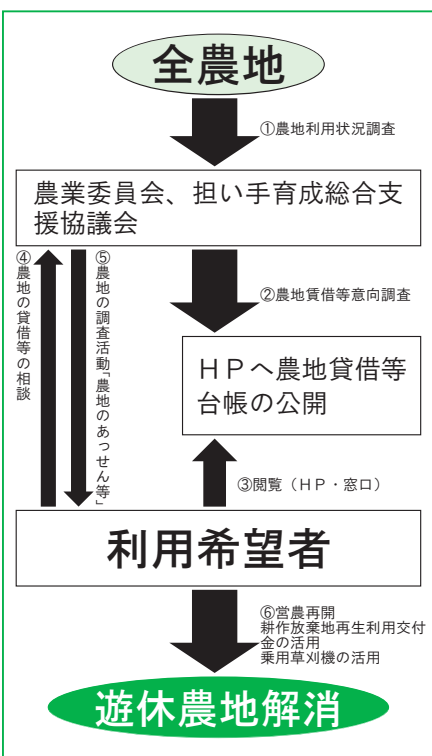
機械導入から約1・8鈔の保全管理を行っています。利用される方は、町シルバー人材センター(43) 0478までご連絡ください。

耕作放棄地再生利用者への財政支援

町では、耕作放棄地を賃貸借等して営農再開する耕作者に対し、国・県と協調して財政支援を行います。

荒れた農地を再生する作業経費に対し、ほぼ耕作者の負担なしで再生作業ができます。ただし、自分の農地を再生する場合は、補助対象外です。交付金を希望する場合、産業建設課へ申請してください。また、農地を拡大したい・新しく農業を始めたい方がいましたら、農業委員会(産業建設課)までご相談ください。

【問合せ】
産業建設課 (42) 3965



交通安全ポスターコンクール

小・中学生の夏休み課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が9月3日(金)、環境センター文化ホールで行われました。

このコンクールは、交通安全ポスターを作製することにより、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に毎年開催されています。

今回は、428名の応募があり、町長、警察署長、交通安全対策委員、小・中学校の美術担当教諭等によって審査が行われました。
各部門の入賞者は次のとおりです。



小学校低学年(1・2年)の部

最優秀賞 藤池うらら(2年)

優秀賞 佐々木未菜美(1年)

吉長美夢(2年)

稲葉琴羽(2年)

指出真紀(2年)

岡村海翔(1年)

小学校中学年(3・4年)の部

最優秀賞 船津 唯(4年)

優秀賞 関 真梨那(3年)

樋口琳花(3年)

細田貴成(4年)

加藤亜門(4年)

稲木美結(3年)

小学校高学年(5・6年)の部

最優秀賞 樋口拓海(6年)

優秀賞 馬場裕太郎(6年)

松本文典(5年)

鈴木拓海(6年)

鈴木里菜(5年)

大石浩之進(5年)

中学生の部

最優秀賞 高木大成(1年)

優秀賞 指出 剣(1年)

小林真緒(1年)

松本尚子(1年)

後藤ほのか(1年)

山本眞海(1年)

(敬称略)

小学校低学年の部



【評】配色がまとまっている。日常に関する点をうまくとらえている。

最優秀賞

松崎小学校2年
藤池 うららさん



小学校中学年の部



【評】下書きから色塗りまで丁寧で、きれいに仕上がっている。

最優秀賞

松崎小学校4年
船津 唯さん



小学校高学年の部



【評】デザインが良く、訴えたいことをわかりやすく表現している。

最優秀賞

松崎小学校6年
樋口 拓海くん



中学生の部



【評】色使いが良く、一般的なポスターとは違った発想が面白い。

最優秀賞

松崎中学校1年
高木 大成くん



健全化比率等の公表

財政健全化判断比率とは？

財政健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、自治体の財政破たんを未然に防ぐことを目的として、自治体の会計である一般会計、特別会計（企業会計含む）など自治体の財政状況を明らかにするため、毎年度の決算時に算定する「健全化判断比率」および「資金不足比率」とをいいます。

健全化判断比率とは？

次の4つの比率をいいます。

- ・ 実質赤字比率
- ・ 連結実質赤字比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

健全化判断比率（公営企業は「資金不足比率」）では、財政の危険信号を示す『早期健全化基準』（公営企業は「経営健全化基準」と財政破たん状態（会社でいう「倒産」）を示す『財政再生基準』があり、比率が基準以上になると、国

や県の手助けや管理の下、財政再生に取り組みなければなりません。

（財政健全化判断比率）

健全化指標	松崎町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	8.1%(8.8%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	22.9%(38.4%)	350.0%	なし

※「—」は黒字の意味で、（ ）内は前年の比率

町の財政健全化判断比率

平成21年度決算による算定では、全ての判断比率が財政健全化法での基準を下回っており、平成20年度決算に引き続いて財政の健全性を確保しております。

しかし、自治体の財政状況は、さまざまな要因により変化していきますので、今後もこの法律を含めたあらゆる方法・分析により、健全財政の推進に努めてまいります。

（公営企業に係る資金不足比率）

特別会計名	松崎町の比率	経営健全化基準	財政再生基準
水道事業会計	—	20.0%	なし
温泉事業会計	—		
伊豆まつざき荘会計	—		
岩地集落排水事業特別会計	—		
石部集落排水事業特別会計	—		
雲見集落排水事業特別会計	—		

※「—」は黒字の意味。

【問合せ】
総務課（42）3963

松崎文芸

— 短歌 —

松崎に独りの暮らし後三年

静かに暮らせと長男は言ふ

ひなげしに健気さを見つ雑草あらくさの中に

まじりてひととところ咲く

風邪ひきて鼻利かぬ日々のおぼろにて

深きかをりの白百合ゆらす

薄衣の風邪にはらりと解けるごと

うす紫の菖蒲咲きたり

母の日にもらひし去年のあぢさゐの

真っ赤な花に心みたさる

車なき時代に三キロの通学路

ゆきたれば今日の健脚がある

祖母にならひ手揉みしたる茶の味の

おもひ出さるる八十八夜

坂倉のぶ

平馬文枝

山本しづ子

中村宣子

端山さち枝

平野もみ子

飯野ふさ

イベント・催し紹介

雲見温泉海賊料理まつり

【日時】 10月10日(日)

午前9時から

【場所】 雲見海岸

【内容】 戦国時代に北条氏へ船や鯨を献上したという故事にちなみ、鯨に見立てたカジキマグロの献上儀式が行われます。献上されたカジキマグロは、その場で解体され、刺身として振舞われます。



～まちのできごと～

9/5 第15回 みなとでみんなと海のピカ市



松崎港周辺では、第15回みなとでみんなと海のピカ市が開催され、リサイクル・フリーマーケット、飲食などの販売ブース約70店が出店し、多くの来場者で賑わいました。

9/20 敬老会へは人力車で



人力車伊豆松崎組では、敬老会の思い出づくりのために、江奈地区の76歳から87歳までの希望者4人を人力車で敬老会の会場となる伊豆まつぎ荘までお送りしました。

9/11 第11回 伊豆半島太鼓フェスティバル



松崎海岸特設ステージでは、第11回伊豆半島太鼓フェスティバルが開催され、県東部で活躍している5団体が出演し、夕暮れ空や海を背景に力強い演奏を披露しました。

9/22 第44回 松崎町地区対抗野球大会



総合グラウンドでは、町内6地区が出場し、地区対抗野球大会が開催されました。中・南・江奈4の合併チームが決勝戦で桜田区を下し、優勝しました。

松崎新港完成

9月1日(水)に東海地震を想定した県下一斉の避難訓練が実施されました。

町内では、各区が主体となり初期消火訓練やけが人の救護訓練が行われました。

特に今回の訓練では、東海地震が発生し、道路が寸断され、陸上からの避難が困難になってしまったことを想定し、三浦地区から海上自衛隊の協力をいただき、松崎新港へ海上輸送訓練が実施されました。

ご存知のとおり、松崎新港は、平成4年から工事に着工し、平成17年10月から一部供用が開始されました。

さらに、現在工事中の緑地整備が完了する10月末を目途に施設の供用開始が図られる予定です。

このことにより、進入路に設置しているバリケードが撤去され、すべての人が自由に出入りすることができますようになります。

この松崎新港が完成したことにより、災害時の海上輸送の拠点や清水港や御前崎港からのフェリー就航による誘客などさまざまな活用方法が検討されます。

また、本来の港湾施設としての目的だけでなく、町民の方が気軽に海と親しむことのできる施設を目指し、周辺整備を計画していく予定になっています。

町長室からこんにちは ⑩

松崎町長

齋藤 文彦

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成22年8月31日現在)
()内は前月比

総人口	8,040人	(-8人)
男	3,813人	(-3人)
女	4,227人	(-5人)
世帯数	3,160戸	(±0戸)
転入	16人	転出 16人
出生	3人	死亡 11人

町の交通事故

平成22年8月31日現在
()内は前年同月比

人身事故	3件	(-1)
物損事故	22件	(+10)
死者	0人	(±0)
傷者	4人	(-1)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
北区	中江立子	93	順
雲見	関晋吾	75	とみ子
野田	佐藤丈夫	87	きさ
江奈1	菊地てる子	83	正明
池代	新田房子	67	康之
中村	中川はな子	100	至明
雲見	土屋允子	62	弘毅
明伏	鈴木早苗	52	豊
池代	山本睦夫	64	徳重

(8月届出分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
石部	ほと歩と叶	女	高橋和彦
北区	ま真お央	女	斎藤治之
指川	ひなた日向	女	斎藤貞治



※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

子宮頸がん検診を受けましょう

子宮がんには、子宮の入り口にできる子宮頸がん、子宮の奥の内膜にできる子宮体がんの2種類があります。町では、健康増進法に基づき子宮頸がん検診を実施しており、今年度は10月中旬から始まります。

子宮頸がん検診では、子宮の入り口の表面からこすり取った細胞を顕微鏡で調べます。この検診を受けることで、早期にがんを見つけて進行がんを防ぎ、死亡を減らす効果があると言われています。(すでに出血や腹部の痛みなどの症状がある方は、検診ではなく、医療機関の受診が必要です。)

全国で1年間に7,000人が子宮頸がんを診断されていますが、検診の受診率は低く、町でも対象年齢の2割程度しか受診していません。また、子宮頸がんが増えているといわれる20歳代から30歳代の若い世代の受診者が少なくなっています。

町では、20歳以上の女性を対象に、2年に1回の受診頻度で子宮頸がん検診を行っています。今年4月から来年3月までに偶数年齢になる方が今年度の対象となりますので、対象の方はぜひ受診しましょう。

地域交流通信

蕎麦の刈り取りが行われています

松本市安曇地区から
乗鞍高原では、9月中旬から蕎麦の刈り取りが始まりました。

蕎麦を作っている耕作者の中でも高齢の方たちは、6月20日前後の「山の口」という日に、山から榎の枝を切ってきて畑の畝に入れます。

大きな蕎麦畑になると、榎の枝が不足するため、7月初旬からシダなどの草を集めて、榎の枝を入れることができなかつた畦に入れます。

7月10日頃に種を撒き、8月中旬の旧盆には白い花が盛りとなり、観光客の目を楽しませてくれます。

刈り取った蕎麦は、はぜ掛けにしたり、畑に立てたりして乾燥させます。乾燥させた蕎麦は、10月10日頃から「パイ」という道具

を使って叩いたり、脱穀機を使ったりして実を落とします。

選別した実は、カマスに入れて少し乾燥させるため、乗鞍で新蕎麦が食べられるのは11月になってからとなります。

新蕎麦が食べられる11月は、乗鞍山頂方面に行くこともできず、スキーシーズンにも早い時期になってしまいますが、機会がありましたら新蕎麦を味わってください。

(アルプス観光協会)
良波芳隆



ハゼ掛けをしている蕎麦畑